

令和5年度（2023年度）

管理事業名	サッカースタジアム事業				総合計画 の体系	大綱 7	都市魅力			
						政策 2	文化・スポーツに親しめるまちづくり			
						施策 3	地域におけるスポーツの振興			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	38	サッカースタジアム費
部局名	都市魅力部	予算執行 所属		文化スポーツ推進室						
事業の目的と概要										
【目的】 プロサッカーの試合やその他のスポーツ、催し等に施設を貸出すこと等により、スポーツの推進、青少年の健全育成、並びに市民及び地域の交流を図る。										
【概要】 施設の貸出を行うとともに、安心・安全に利用できるよう施設の維持管理を行う。施設の将来的な大規模修繕に備え、株式会社ガンバ大阪より大規模修繕費として支払いを受け、サッカースタジアム基金へ積立てを行う。ネーミングライツ料をスポーツ推進基金に積み立て、サッカースタジアムの利用促進やスタジアム周辺の環境整備等を行う費用に充当する。										

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指 標 の 定 義
プロサッカー入場者数	人	173,021	451,285	494,419	プロサッカーの試合（J1リーグ、ルヴァンカップ、国際試合等）の入場者数
プロサッカーの試合数	試合	31	24	23	プロサッカーの試合（J1リーグ、ルヴァンカップ、国際試合等）の試合数
その他入場者数	人	25,358	129,222	69,092	プロサッカーの試合以外（諸室等利用、視察、指定管理者自主事業等）の入場者数
その他の利用件数	件	531	795	1,139	プロサッカーの試合以外（諸室等利用、視察、指定管理者自主事業等）の利用件数

II 活動実績・成果

【成果の指標1】プロサッカー入場者数の評価 ・入場者数 494,419人（前年度実績から43,134人の増） 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことなどにより増加した。 【成果の指標2】プロサッカーの試合数の評価 ・試合数 23回（前年度実績から1回減） J1リーグや国際試合等の増減により減少した。 【成果の指標3】その他の入場者数の評価 ・入場者数 69,092人（前年度実績から60,130人の減） 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことなどにより諸室等の利用は増えたものの、前年度実施したコンサート（2日間・70,000人）は実施しなかったため大幅減となった。 【成果の指標4】その他の利用件数の評価 ・利用件数 1,139件（前年度実績から344件の増） 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことなどにより諸室等の利用が増えた。	
--	--

III 課題と今後の取組

プロサッカーの試合以外での利用の促進について、市民に幅広く利用してもらえるよう、更なる周知が必要である。 建物や設備の劣化状況に応じて、定期的に大規模修繕計画の見直しが必要である。 今後も、スポーツ推進基金のより有効な活用に取り組むとともに、継続してネーミングライツ料が確保できるよう事業者等へのアプローチが必要である。	
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	581	465	△116
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	581	465	△116
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	9,320,943	9,329,291	8,348	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	5,241	4,210	△1,031
建物・工作物	9,320,943	9,329,291	8,348	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	5,241	4,210	△1,031
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	5,822	4,676	△1,147
建物・工作物	-	-	-	純資産	9,514,487	9,608,443	93,956
建設仮勘定	-	-	-	建物・工作物	-	-	-
重要物品	10,001	6,216	△3,785	基金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	出資金	-	-	-
投資その他の資産	189,365	277,611	88,246	長期貸付金	-	-	-
基金	189,365	277,611	88,246	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	-	-	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	9,520,309	9,613,118	92,809
徴収不能引当金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	9,520,309	9,613,118	92,809
その他債権	-	-	-				

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金（経常費用充当）	-	-	-	-
府支出金（経常費用充当）	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	3	3	1	△2
その他	426,458	456,459	464,275	7,815
経常収入 小計 (a)	426,461	456,462	464,275	7,813
給与関係費	13,089	6,573	5,356	△1,217
物件費	156,615	156,535	164,429	7,894
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	122,479	398,538	110,680	△287,858
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	450,187	450,828	448,012	△2,816
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,043	581	465	△116
退職手当引当金繰入額	1,976	△4,733	△814	3,919
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計 (b)	745,388	1,008,321	728,128	△280,193
経常収支差額 (a)-(b)=(c)	△318,928	△551,858	△263,853	288,006
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	45,503	-	489,356	489,356
特別収入 小計 (d)	45,503	-	489,356	489,356
固定資産除売却損	24,541	-	36,781	36,781
その他	-	-	-	-
特別費用 小計 (e)	24,541	-	36,781	36,781
特別収支差額 (d)-(e)=(f)	20,961	-	452,575	452,575
一般財源調整額 (g)	-	-	-	-
当期収支差額 (c)+(f)+(g)	△297,966	△551,858	188,722	740,581
一般財源充当額	14,998	8,215	6,327	△1,888
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△282,969	△543,643	195,049	738,693

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	426,461	456,462	464,275	7,813
行政サービス活動支出	293,918	563,153	281,263	△281,890
行政サービス活動収支差額	132,543	△106,690	183,012	289,703
投資活動収入	122,462	398,478	110,661	△287,817
投資活動支出	270,003	300,003	300,001	△2
投資活動収支差額	△147,541	98,475	△189,340	△287,815
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△14,998	△8,215	△6,327	1,888
一般財源充当額	14,998	8,215	6,327	△1,888
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建物・工作物	階段滑り止め設置やVIPルームの増設等に伴う増額と減価償却による差額8,348千円
【BS】 基金	大規模修繕費の積立て等による88,246千円の増
【PL】 物件費	土地賃借料の上昇等による7,894千円の増
【PL】 負担金・補助金・交付金等	前年度実施したスタジアムビジョン改修等による負担金287,819千円の減
【PL】 特別収入／その他	階段滑り止め設置やVIPルームの増設等による資産の寄贈489,356千円の増

単位当たりのコスト分析（「経常費用 小計(b)」÷「実績」）

単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入場者1人	コスト 3,758 円	1,737 円	1,293 円
	実績 198,379 人	580,507 人	563,511 人
	コスト 円	円	円
	実績		

分析内容
入場者数は前年度に比べ減少したものの、経常費用も負担金・補助金・交付金等が大幅に減少したことにより、入場者1人あたりコストは減少した。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	5,007	296	0.70
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	5,007	-	-

分析指標

年度	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差 B-A
分析指標				
施設老朽化比率	22.6	26.2	28.6	2.4
施設維持補修費比率	-	-	-	-
経常費用対公共資産比率	5.9	8.0	5.6	△2.4
徴収不能引当率	-	-	-	-
受益者負担比率	-	-	-	-
一般財源充当比率	2.7	1.0	1.1	0.1